

所沢市長のあったか市政

# まちづくり 通信簿

4S + 財政

## とうま よしこ プロフィール

〈略歴〉1949年／福岡県大牟田市生まれ、慶應義塾大学法学部卒業。1979年／29歳で所沢市議会議員に当選。（連続3期）1991年／所沢市長選挙に出馬、惜敗。1999年／埼玉県議会議員当選。（連続3期）2007年／所沢市長選挙に出馬、当選。  
〈主な役職〉所沢市健康づくり市民会議議長／所沢市防犯協会会长／所沢市文化振興事業団理事長／所沢商工会議所顧問／埼玉西武ライオンズ所沢市民後援会会长

所沢市長

当麻よし子

# 未来へつなぐ あったか市政



“いつも市民とともに、所沢市にとって最善の選択をする”

ことを肝に銘じながら、この4年間、市政運営を行ってきました。

政治や経済が混迷を続けていますが、政治も経済も、人間が生きるために、

よりよい社会を築くために創りあげてきたシステムであるという原点を忘れてはならないと思います。

実績

堅実に、誠実に、市民の目線で実行してきました  
—— 1期4年間での特徴的な取り組み ——

- ① 子ども医療費の無料化を中学3年生まで拡大。（平成23年10月から）
- ② ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン・子宮頸がんワクチンの接種費用を無料化。
- ③ 高齢者（70歳以上）の肺炎球菌ワクチン接種費用3000円助成を新設。
- ④ 国保税の税率等を見直し、低所得者層や中間所得者層の負担軽減を実施。
- ⑤ 学校耐震化を2年前倒し、平成25年度までにすべての小・中学校の耐震化を完了。
- ⑥ 4年間で私立保育園を7園新設するなど、516人の待機児解消に取り組んでいます。
- ⑦ 米軍所沢通信基地「東西連絡道路」の返還へ向け、国との合意が決定し具体的な事務作業が始まります。（昭和54年以来の基地の部分返還が実現します）
- ⑧ 土地開発公社の債務残高80億円を平成24年度までにゼロへ。（平成23年度末までに69億円の債務を返済）
- ⑨ 「所沢駅西口通り」が開通しました。
- ⑩ その他、中央公民館・所沢図書館分館・新所沢公民館・生涯学習推進センターなどもオープンしました。

おもな  
実績です





市長マニフェスト

# 外部評価

5点満点  
での裁定

4S+  
プラス

財政

※各項目の番号はマニフェストの番号を引用しています



## 生活が第一・あったか市政

Safety

<評価が高かった項目>

**① 一人暮らしの高齢者の見守り活動を充実。**

(地域ケアネットワークの確立)

→平成20年にトコロみまもりネットを設立。

多数の通報協力実績を達成。



4.5点  
おじいちゃん

**⑤ 高齢者の居場所づくり。(住宅や空き店舗を活用)**

→平成20年よりお達者倶楽部事業を推進。居場所作りと関係45団体に支援を行いました。

4点  
おじいちゃん

**⑩ 障がい者のグループホーム・ケアホームの整備。**

→地域で自立を希望する障がい者のため、4施設34人分の整備を行いました。

4.5点  
おじいちゃん

<評価が低かった項目>

**⑥ 高齢者の仕事の確保と生きがい対策の充実。**

→着実に成果は出ていますが、引き続き補助金の交付や講座・行事の実施を通して拡充を図っていきます。

3点  
一歩



## 人と自然が共生する所沢

まち  
Soft

<評価が高かった項目>

**⑫ 個人市民税の1%を財源に、身近な緑や狭山丘陵、三富新田の保全を進めます。**

→財源を確保し、公園の整備事業、緑地の保全購入事業を進めています。



4点  
おじいちゃん

**⑬ ごみ減量リサイクル・廃棄物流入規制などを検討する市民委員会を設置。**

→平成21年44名の市民委員会を設置。その後部会を立ち上げ積極的に研究が行われました。

5点  
おじいちゃん

<評価が低かった項目>

**⑪ 「川と緑の保全条例」を制定し、ミヤコタナゴやホタルが戻ってくる自然を再生します。**

→マニフェスト通信簿記載内容の通り、「ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例」(案)を平成23年9月定例市議会へ議案として提案し制定をめざします。

1点  
一歩

<評価が高かった項目>

**㉓ "景観条例" の制定。(景観に配慮した所沢らしいまちづくり)**

→市民の意見を取り入れながら、平成22年所沢市ひと・まち・みどりの景観条例を制定、平成23年7月より施行。

5点  
おじいちゃん

<評価が低かった項目>

**⑯ 所沢農産物の販売を促進し「ところざわ道の駅」構想を実現します。**

→JAが主体となって設置する予定の、大型直売所開設の支援を引き続き行っています。

1点  
一歩



# 未来へつなぐ、あったか市政の実現にむけて

市

民のみなさまには、それぞれ家族や仕事、そして日々の生活があります。社会のつながりが希薄になっている現代は、ストレスも多く、様々な悩みや将来不安などがありますが、私は、市民が立場の違いを超えて、互いを尊重しながら、所沢市の将来に思いを寄せていくべき、必ず道は開けてくると確信しています。これからも現実から目を背けることなく、課題へ挑戦していきたいと思います。

このたび、4年前、市民のみなさまとお約束した「市長マニフェストの外部評価」をお二人の先生へお願いしました。市役所内部の評価につきましては、平成22年と平成23年に『市長マニフェスト通信簿』として評価結果の公表を行っています。市民の皆様との契約とも言える市長マニフェストの達成度ができるだけ客観的に評価することが今回の狙いです。不十分な点もあるかと思いますが、ご一読いただければ幸いです。



## 子どもたちに笑顔を！



Smile

<評価が高かった項目>

- ②6 市役所に「子ども部」を創設し、子育て支援の一元化をはかります。

➡ 平成21年より子ども未来部発足。子育ての相談・給付窓口の一本化を実現。

5点  
まちなかくわんこふく

- ②7 小児医療センターを開設し、24時間小児救急医療体制を整備します。

➡ 日曜日の深夜帯を除き、24時間365日の小児救急医療体制を整備しました。

5点  
まちなかくわんこふく

<評価が低かった項目>

- ③1 小学校へ司書補助員を配置します。

➡ 現在進行中であり、モデル校には派遣を行っています。引き続き拡充していきます。

2点  
まちなかくわんこふく

- ③2 学校給食の充実。（自校給食の促進と地域での食育の実践）

➡ 自校給食については、学校施設の耐震化を優先して実施したため、平成25年度以降の整備計画を策定。

2点  
まちなかくわんこふく



## 生活者の目線で市役所改革

Save



<評価が高かった項目>

- ③6 市長の給与20%、退職金の25%削減を実施。  
(自ら率先実行)

➡ 市長給与削減については、平成21年3月議会で可決され達成。

5点  
まちなかくわんこふく

- ③7 所沢の憲法「自治基本条例」を制定し、市民との協働で自立した市政を確立します。  
➡ 市民検討委員会を立ち上げ、パートナーシップ協定を締結。対話集会を重ね平成23年3月議会で条例を可決。

4.5点  
まちなかくわんこふく

- ③8 入札制度改革。（契約金額1千万円以上に一般競争入札の導入、総合評価方式の導入）  
➡ 目標どおりの制度改革は完了しました。

5点  
まちなかくわんこふく

<評価が低かった項目>

- ③5 市長の任期を2期8年とする「多選自粛条例」を制定。

➡ 就任直後の平成19年12月議会に条例案を提出するも否決されたため達成できませんでした。

3点  
まちなかくわんこふく



# 4年間で約40億円の財政改革

Fiscal  
Resources

## ＜評価が高かった項目＞

### ¥ 職員100人を削減することにより9億円を節約。

→平成22年までに121人を削減。11億3800万円の節約を達成しました。



5点

5点

### ¥ 政策評価や事務事業の見直しにより約8億円を節約。

→見直しにより平成20年度に約29億9千万円、平成21年度に22億6千万円を削減し、市民の生活を守るための新規事業や拡充すべき事業に充当しました。

### ¥ 市長給与・退職金の削減で約2000万円を節約。

→条例改正し、4年間で2160万円の節約を達成しました。

### ¥ 入札制度改革やその他の公共調達の見直しで約16億円を削減。

→入札制度などの見直しにより、平成22年度までに19億7902万円削減を達成しました。

### ¥ 民間の活力を生かし事業費を削減。

#### 公共施設の公設民営化、市場化テストの導入で約4億円を節約

→3.6億円までの削減を達成。引き続き目標金額に向け努力していきます。



5点

5点

4点

## ＜評価が低かった項目＞

### ¥ 未利用地の活用や売却、既存施設の利用促進で約3億円。

→1.4億円の財源確保を達成。引き続き目標金額に向け努力していきます。

3点

## ■マニフェスト自己評価

\*「進行中以上」は、全46項目中45項目で全体の97.8%の割合でした。

点数は114点（満点138点）で、平均点は2.5点（3点満点）でした。

単位：件

|            | すぐ<br>H19年度中 | 1年内<br>H20年度中 | 2年内<br>H21年度中 | 3年内<br>H22年度中 | 4年内<br>H23.10迄 | 期限なし   | 合計    |
|------------|--------------|---------------|---------------|---------------|----------------|--------|-------|
| 項目数        | 7            | 8             | 12            | 3             | 8              | 8      | 46    |
| 達成3点       | 4            | 7             | 7             |               | 4              | 1      | 23    |
| 進行中2点      | 2            | 1             | 5             | 3             | 4              | 7      | 22    |
| 遅延1点       | 1            |               |               |               |                |        | 1     |
| 進行中以上の項目割合 | 6            | 8             | 12            | 3             | 8              | 8      | 45    |
|            | 85.7%        | 100.0%        | 100.0%        | 100.0%        | 100.0%         | 100.0% | 97.8% |

【所信欄】このマニフェスト自己評価は、私自身が評価した結果です。ほとんどの項目が達成あるいは順調に進捗しております。この結果は、多くの市民の皆様のご理解とご協力の賜物であり、市職員の努力と実行力の結果です。深く感謝申し上げます。最終年度を迎える期である10月までの間、引き続き、「子ども・高齢者・環境・コミュニティ」の4つの柱を中心に、未達成な項目の実現をめざして一生懸命に取り組んでまいります。



## 外部評価 希望あふれるまちに前進！こんな政策を実現・達成しました！！

◎評価にあたり/2007年、当麻よし子・所沢市長は、マニフェスト「生き活きところざわ あつたか市政」を掲げて当選されました。同マニフェストは「安心」「自然」「笑顔」「節約」の4柱（4S）となっています。

当麻市長は、既に自己評価を実施していますが、自己評価だけでは自画自賛に終始してしまう可能性もあるため、今回、学識者から構成される「当麻よし子・所沢市長マニフェスト進捗状況外部評価委員会」を立ち上げ、外部評価による当麻よし子・所沢市長の政策達成度の評価を実施しました。

今回の評価は、それぞれの専門分野の知見をいかし、外部評価は合議制を採用し、評価の客観性を担保するように努めました。

各評価者の平均点により総合評価を求めた結果、245点満点で179点であり、マニフェストの達成率は73.1%となりました（100点満点で73.1点と捉えてよい）。

総合評価としては、「おおむね良好な結果である」と判断されます。ただし、現時点において、点数の低い事業については、よく顧みて、次の政策達成にいかしてほしいと思います。何よりもマニフェストは市長の任期中に実現を目指すものです。任期満了の日まで、さらに着実かつ積極的な取り組みを期待しています。（外部評価報告書・抜粋）

平成23年6月

当麻よし子・所沢市長マニフェスト進捗状況外部評価委員会

長野 基（跡見学園女子大学マネジメント学部専任講師）

牧瀬 稔（財団法人地域開発研究所研究部主任研究員）

※詳しくは当麻よし子公式ホームページ・マニフェスト外部評価をご覧ください <http://www.toma-y.com/>